

# ご近所の お医者さん

□  
760  
□

大阪市立総合  
医療センター 病院長

清水貞利さん

—大阪市都島区



## 最近の病院情報発信事情

インスタグラムは、皆さんご存じか  
と思います。最近はお店の公式サイト  
がインスタグラムになっていたり、大  
ファンであるプロ野球・阪神タイガ  
ースにも公式アカウントがあったりと、  
私も存在はもちろん知っていました。

私は今年2

月、京都マ  
ラソンへの  
参加をき

かけに始めましたが、一通り見た後は  
存在を忘れていました。

最近では病院でも、どんな病院が詳し  
く知ってもらうため、さまざまな手段  
で情報を伝えています。「医療ドラマ

## インスタで伝わる「安心」

手でした  
が、積極的  
に病院の魅  
力や強みを

の宣伝？」と思うようなかなり凝った  
ホームページもあります。私が勤務し  
ている病院でも、ホームページの刷新  
を機に、病院の雰囲気や気軽に感じて  
もらえるようインスタグラムを開設し  
ました。フォロワーは徐々に増え現在

ンタビューを受けた「未来の医療をリ  
ードする病院」について語った動画で  
は、緊張の連続である職場だからこそ、  
気持ちにゆとりを持つことが大切であ  
ること、患者さんやご家族はもちろん、  
医療者にとっても安心できる空間を作  
りたいということを伝えました。

今までは、自分からアピールするこ  
ういうことが、何となく恥ずかしくて苦

は4300人程になっています。

今年4月に病院長になり、入社式の

様子や「One Hospital Mee

ting」というこれから病院が目指す

姿を話す様子が病院のインスタグラム

に投稿されました。多くの人に「見た見

た！」と声を掛けられるようになった

ので、私も再び見るようになりました。

効果音が流れたり、きらびやかな装飾

があったりと、うまく私をフォローし

てくれます。また、病院長としてイ

発信することも、必要で実は親切なこ  
とと感じるようになりました。

投稿される動画では、さまざまな人

が主役となり、話や所作もすごく自然

で、良いなと思うことが多く、新しい

発見もあります。患者さん、職員、そ

してこれから就職を考えている方にと

っても、病院の雰囲気がよく伝わるイ

ンスタグラムは、当院が目指す「安心

できる空間作り」に役立つのではない

と感じています。